

日本郵便株式会社と企業立地調印

北上南部工業団地に岩手郵便局を建設中の日本郵便(株)(東京都千代田区、横山邦男代表取締役社長)との立地調印式は9月16日、本庁舎で行われました。調印式では同社東北支社の糸井利久支社長と高橋敏彦市長が協定書を取り交わしました。

同社は郵便物やゆうパック、ゆうメールなどの区分作業を地域区分郵便局に集約し、全体の生産性を高める「郵便・物流ネットワーク再編」を推進しています。このうち、現在の地域区分郵便局において施設の狭あいなどで集中処理が困難なエリアについて、高速道路インターチェンジ付近に新たに地域区分郵便局を設

置予定です。その一環として岩手エリアを受け持つ地域区分郵便局(岩手郵便局)の建設を開始しました。

岩手郵便局の土地面積は約6万5000平方メートル、建物面積は2万5000平方メートルで東北最大規模。現在、盛岡中央郵便局で扱っている郵便、ゆうパックの仕分け業務などを行うほか集配局で行っている区分作業を集約し行います。将来的には秋田・青森の特産品ゆうパックの一部を集中処理するほか、物流ソリューションセンターを設置し、事業主から預かった商品の保管、受注、梱包から配送までのトータル物流サービスをを行う予定です。

開局は29年3月を予定しており、開局時の必要人員は250人程度。150人は盛岡中央郵便局や近隣から異動し、開局までに契約社員100人程度を募集する予定です。構内に約500台の駐車場を完備するほか、盛岡市や北上駅からの通勤用シャトルバスを運行するなどし、雇用の確保に努めていきます。

(株)オクモト(広島県尾道市、奥本浩之代表取締役)との企業立地調印式は17日、本庁舎で行われました。

同社は96年にライズみちのく販売(株)を設立。県内の米を仕入れ、関東地域や広島などに出荷・販売しています。近年、東北産米の集荷率が上昇していることからさらに集荷、販売を強化するため北上産業業務団地(オフィスアルカディア)に低温倉庫「オクモトライズみちのく北上第一倉庫」を建設しました。倉庫の建物面積は1650平方メートル、敷地面積は5791平方メートル、平屋建てでフレコン対応の自動ラック式。投資総額は約3億円で約2400トンの米が貯蔵可能です。同社は現在、ひとめぼれやあきたこまち、萌えみのりといった品種を取り扱っており、今後は同倉庫に県内をはじめ東北の米を首都圏や広島へ流通させる集積センターとしての役割が期待されます。

同倉庫の運営管理は当面ライズみちのく販売(株)が行い、将来的に5人を採用する予定です。

株式会社オクモトと企業立地調印

です。20日から操業が開始され、団体などのお米も取り扱っていきます。

残りの敷地には低温倉庫の増設や加工場の建設を検討しており、今後の市場の動向を判断し決定する予定です。

北上駅鍛冶町線歩道整備(バリアフリー)工事が完了し引渡式を行う

北上駅鍛冶町線歩道整備(バリアフリー)工事外2件完成引渡式は9月29日、JR北上駅西口駅前広場で行われました。式典ではバリアフリー工事を請負った千田工業(株)の千田和秋代表取締役社長から高橋市長に引渡書が手渡され、その後、式典の参加者が新設された横断歩道の渡り初めを行いました。

置され、安全に駅前道路を横断できるようになりました。横断歩道と信号機は岩手県警察が設置。総工費は約8516万円で市は歩道のバリアフリー化などを行いました。



高橋市長から記念品を受け取る糸井支社長(右)



調印後握手を交わす奥本代表取締役(中央右)ら



横断歩道が設置され、バリアフリー化が行われたJR北上駅西口

友好都市石垣市と

職員交流に関する協定を締結

石垣市との職員交流に関する協定締結式は9月30日、本庁舎で行われました。式には石垣市から中山義隆市長、同市総務部総務課の翁長致純課長らが出席し、高橋市長と協定を取り交わしました。

同協定は石垣市と北上市の間で、相互に職員を派遣する職員交流を実施するものです。先進的行政手法を実地研修す

ることで、相互理解と協力関係を促進するとともに職員の資質向上を図ります。本年度の派遣期間は一カ月で、石垣市から北上市への職員派遣は11月を予定。農政分野の業務に従事します。北上市から石垣市への派遣は29年1月を予定。石垣島マラソン大会の運営など、イベント運営や観光農政分野を学びます。



協定後握手を交わす中山石垣市長(右)ら

和賀川桜づつみが完成

和賀川桜づつみ完成披露式は9月22日、和賀中央橋袂で行われました。同事業は良好な河川環境の整備を目的に河川管理者である県と市が合同で実施。県が堤防強化の盛土を行い、市が平成21年度から堤防を市道として舗装し、寄附いただいた桜(ソメイヨシノ)を植樹したものです。市の事業費は約4800万円。地域の皆さんの憩いの場として利用してもらい、桜の成長後には、展勝地と並ぶ桜の名

所となることを期待し完成を祝いました。



テープカットを行い完成を祝いました

市内の避難者状況

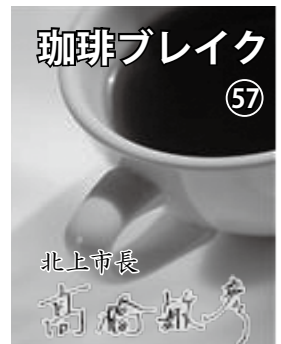
(9月30日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(0)	11(0)	22(0)	14(-1)	7(-1)
人数	4(0)	22(0)	36(0)	27(-1)	12(-1)
区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計	
世帯	8(0)	8(0)	8(0)	80(-2)	
人数	10(0)	11(0)	19(0)	141(-2)	

※()は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

同市とは平成5年の岩手県大災害の際、種もみ増殖支援をきっかけに「かけはし交流」といって北上マラソン大会へ相互出場などの交流が行われているほか、26年1月には友好都市の締結を行っています。

身近にあった国の宝



安のようだが、ここは多くの市民の応援でなんとか盛り上げたものである。

希望郷いわて国体、希望郷いわて大会が北上市の市民力を全国に示し、多くの感動と共に無事閉幕した。関わっていただいた多くの皆さまに心から感謝を申し上げたい。

さて、国体月間の10月が終わると芸術の秋、行事が11月に集中する。12日(土)は第20回おかあさんの詩全国コンクールの表彰式である。今年

は20回記念のため実行委員皆特別な思いで準備に当たってきた。中でも表彰式の企画を公募の高校生が担当。司会、演出、運営に携わる。吹奏楽で全国レベルの大会に出場した、上野中学校、江釣子中学校も出演する。今までは全く異なる若者の運営に当の八重樫真純実行委員長は少々不

現在の市のイメージと30年前のそれを比べると、現代詩歌文学館やサトウハチロー記念館はまさに国の宝であり、そのおかげで市の品格も格段に上がってきたと感じている。まさに地域の大きな宝が身近にあったのだ。私たち市民はこのような国の宝をどうまちづくりに繋げるか、しっかり考えていくことが大切ではないだろうか。